

報道関係者各位

2026.8
福田美術館

福田美術館

2027年企画展スケジュールのお知らせ

アートに詳しくない方でも広く楽しんでいただくことをコンセプトとし、これまで江戸時代から近代を中心とした作品を展示してきた福田美術館は、2027年で開館8周年を迎えます。

2027年は、新たな試みとして、現代アートと江戸絵画を一堂に紹介する展覧会や、琳派の名品を集めた展覧会を開催します。

2027年1月30日(土)～2027年6月6日(日)

Timeless Code 現代⇄江戸

2027年6月19日(土)～2027年8月29日(日)

りん・りん・琳派

2027年9月11日(土)～2028年1月16日(日)

オールスター名画祭

ーでっかい、ながーい！？ すっごい絵ー (仮)

※嵯峨嵐山文華館と二館共催

2028年1月29日(土)～2028年4月9日(日)

ウッキウッキわくわく！ どうぶつ図鑑 (仮)

※展覧会の会期・内容は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

プレスリリースに関するお問合せ

福田美術館広報事務局（共同ピーアール内）

担当：田中、折笠、広岡

TEL：03-6264-2045

Email：fukudamuseum-pr@kyodo-pr.co.jp

2027年1月30日(土)～2027年6月6日(日)

Timeless Code 現代⇄江戸

前期：1月30日(土)～4月5日(月) 後期：4月6日(火)～6月6日(日)

2019年10月に開館した福田美術館では、これまで江戸時代をはじめとする近世・近代の日本美術を中心に、誰もがアートに親しめる多彩な展覧会を企画してきました。日本美術の流れを現代へとつなげるべく、2023年からは日本人アーティストによる現代アートの蒐集も開始しています。

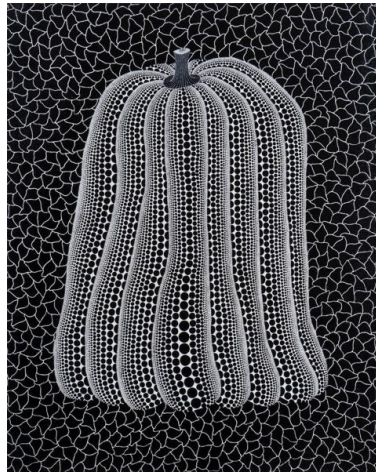
本展では、福田美術館がこれまで紹介してきた江戸絵画と、近年蒐集を進めている現代アートを一堂に展示します。草間彌生（1929–2026）、奈良美智（1959–）、加藤泉（1969–）ら国内外で活躍する現代アーティストと、伊藤若冲（1716–1800）、池大雅（1723–1776）、円山応挙（1733–1795）ら江戸時代を代表する画家たちの作品を、時代を超えて比較できるよう構成しています。

一見すると、まったく異なる時代を生きてきた作家たちですが、若冲も応挙も、当時は既存の価値観にとらわれず、独自の表現を追い求めた「現代」の作家でした。約200年の時を隔てた作品をテーマごとに紹介しながら、創作への想いや表現方法に“共通するもの”に迫ります。さらに、夫婦それぞれが独自の表現を追求し、国内外で活躍の場を広げる西村有（1982–）と今井麗（1982–）の作品もご紹介します。

江戸絵画を長年紹介してきた福田美術館だからこそ実現する、現代アートと江戸絵画の出遭い。江戸と現代、異なる時代の作品を通して、これまでとは少し違った視点からアートを楽しむことができる展覧会です。



1 ©Yoshitomo Nara



2 ©YAYOI KUSAMA



3



4



5 ©2024 Izumi Kato

1. 奈良美智 《Are You Staying True to You?》
2. 草間彌生 《Pumpkin》
3. 伊藤若冲 《燕に双鶏図》
4. 長沢芦雪 《猫と仔犬》（部分）
5. 加藤泉 《Untitled》

2027年6月19日(土)～2027年8月29日(日)

りん・りん・琳派

前期：6月19日(土)～7月19日(月) 後期：7月21日(水)～8月29日(日)

江戸時代前期の俵屋宗達（生没年不詳）に始まり、尾形光琳（1658-1716）、酒井抱一（1761-1828）へと受け継がれた「琳派」は、やまと絵の伝統を基盤としながら、モチーフの形態や配置の妙が際立つ豊かな装飾性を特徴としています。その継承は、血縁や師弟関係によるものではなく、先達の作品への憧れから模写を通して自ら学ぶ「私淑」というかたちで行われてきました。とりわけ抱一が光琳を顕彰したことで、「琳派」は時代を超えて受け継がれる流派として認識されるようになりました。

宗達や光琳らが活躍した京都に対し、鈴木其一（1796-1858）やその後続く弟子たちによって江戸で受け継がれ、明治以降へと続いた琳派の系譜は、「江戸琳派」と呼ばれています。本展では、2026年に当館のコレクションに加わった「江戸琳派」の優品約20点を中心に、琳派の美の系譜をたどります。

さらに、京都生まれ、生誕100年を迎える加山又造（1927-2004）による、現代琳派を象徴する名作《初月屏風》をはじめ、又造の多岐にわたる画業も紹介します。

時代を超えて響き合う琳派の世界。形や色、配置を自在に楽しむ画家たちの知的な遊び心とともに、琳派ならではの豊かな世界に迫ります。



1



2

1. 尾形光琳《十二ヶ月歌意図屏風》右隻
2. 深江芦舟《草花図屏風》重要文化財

2027年9月11日(土) ～ 2028年1月16日(日)

※嵯峨嵐山文華館と二館共催

オールスター名画祭 ーでっかい、ながーい!? すっごい絵ー (仮)

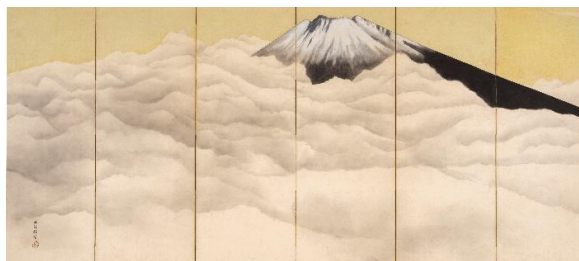
前期：9月11日(土) ～ 11月8日(月) 後期：11月10日(水) ～ 2028年1月16日(日)

本展では近世・近代の日本画家たちが豊かな創造力で描き出した渾身の意欲作を、近隣にある嵯峨嵐山文華館との共催で公開します。第1会場の当館では、日本一大きな山・富士を描いた横山大観《富士図》や、縦2.5mを超える大迫力の作品など様々な「でっかい絵」が登場します。全長約11mに及ぶ伊藤若冲《果蔬図巻》など横長の画面を生かして描かれた巻物をはじめ、「ながーい」ものを題材にした絵画もご紹介します。さらに、最近発見されたばかりの木島櫻谷の幻の文展出品作《孟宗藪》を110年ぶりに特別公開します。

「でっかい」「ながーい」という壮大なスケールとともに、福田コレクションが誇る名画の「すっごい」魅力を堪能できる展覧会です。



1



2

1. 伊藤若冲《果蔬図巻》(部分)
2. 横山大観《富士図》左隻

2028年1月29日(土) ～ 2028年4月9日(日)

ウッキウッキわくわく! どうぶつ図鑑 (仮)

前期：1月29日(土) ～ 3月6日(月) 後期：3月8日(水) ～ 4月9日(日)

2028年の干支は、古くから日本人と親密な関係にあるサル。本展ではサルを中心に、江戸時代から近代にかけて描かれた動物画を紹介し、その生態や人間との関わりに迫ります。「猿描き狙仙」と称された森狙仙や、近代日本画の巨匠・橋本関雪らによるサルを描いた名品からは、ユーモラスな姿から奥深い精神性まで、時代や画家によって異なる多様なサルの表現を見てとることができます。毛並みや表情などを繊細に描き出す、日本画家による動物画ならではの巧みな筆遣いも見どころです。



1



2

1. 橋本関雪《玄猿図》
2. 森狙仙《親子猿図》(部分)

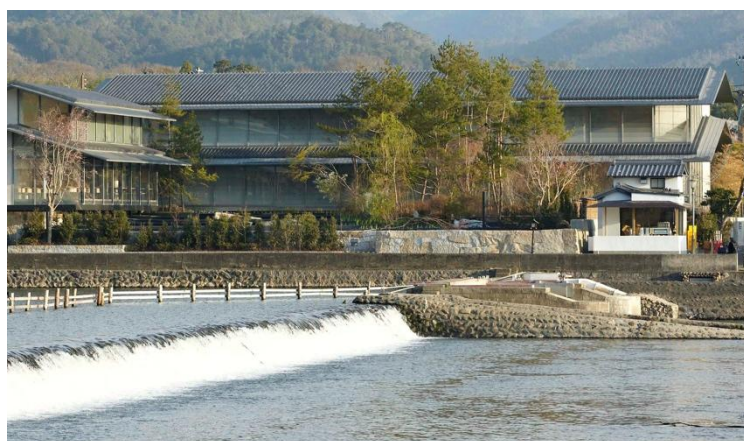
福田美術館について

美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。福田美術館は「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へとつなぐ美術館を目指します。

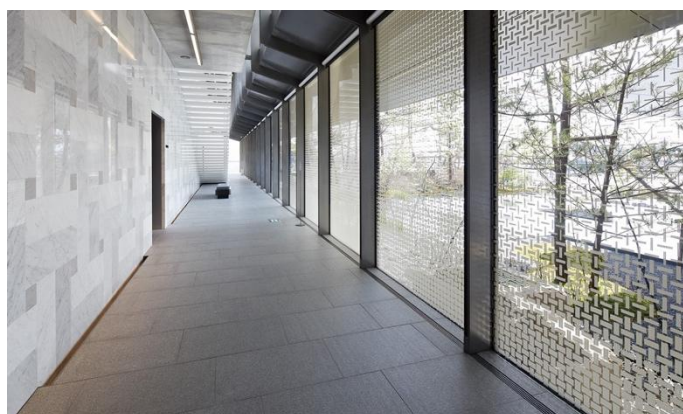
オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しをしたいという思いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人々が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了してきました。この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しんでいただくことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。

福田美術館は2026年10月で開館8周年を迎えます。今後も「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へとつなぐ美術館を目指します。



嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指しました。また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。



福田美術館概要

■施設名称

福田美術館

■開館時間

10:00～17:00（最終入館 16:30）

■休館

展示替え期間、設備点検日、年末年始

■アクセス

〒616-8385 京都府京都市右京区
嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
JR山陰本線（嵯峨野線）「嵯峨嵐山駅」
下車徒歩12分／
阪急嵐山線「嵐山駅」下車徒歩11分／
嵐電（京福電鉄）「嵐山駅」下車徒歩4分



■料金

〈福田美術館〉
一般・大学生：1,500円～
（高校生900円 小中学生500円 障がい者・付き添い各900円）

＜嵯峨嵐山文華館との二館共通券＞ ※展覧会により異なる
一般・大学生 ¥2,300/高校生 ¥1,300/小中学生 ¥750
障がい者と介添人1名まで 各¥1,300

プレスリリースに関するお問合せ

福田美術館広報事務局（共同ピーアール内）
担当：田中、折笠、広岡
TEL：03-6264-2045
Email：fukudamuseum-pr@kyodo-pr.co.jp

一般の方からのお問合せ

TEL：075-863-0606（代表） Email： info@fukuda-art-museum.jp